

フジコー（香川県丸亀市、舟越一隆社長）は、

得意のグラビア印刷技術を生かした各種事業を展開している。メインはトイレットペーパーや女性向け生理用品をはじめ、日常生活で見かける商品などのパッケージ印刷事業だ。これら商品で用いる軟包装材料は周囲の温度や湿度に影響されやすく、少しの変化で伸び縮みしてしまう。パッケージはいわば商品の「顔」であり、少しのズレが生じるだけでも信用問題につながるかねない。フジコーは本社工場で

フジコー

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

（第一部）

9

同事業を手がけていたが、旧態依然の体制が長く続き、技術継承などの課題も浮上していた。そこで同事業の見直しを検討し、2019年に設備

インバーター式 ヒートポンプチラー



稼働率安定、コスト26%減

投資を行った結果、生産量を増加できたものの光熱費も増えてしまった。印刷工程では乾燥用空気を増加できたものの光熱費も増えてしまった。気ボイラや冷却専用チラーを使用していた。しかし同チラーは冬季に稼働を停止させるため、年間での熱費のバラつきが生じた。外気温の高い時期だけ使用し、1年で半分の稼働率を実現

投資を行った結果、生産量を増加できたものの光熱費も増えてしまった。印刷工程では乾燥用空気を増加できたものの光熱費も増えてしまった。気ボイラや冷却専用チラーを使用していた。しかし同チラーは冬季に稼働を停止させるため、年間での熱費のバラつきが生じた。外気温の高い時期だけ使用し、1年で半分の稼働率を実現

【事業所概要】▽所在地 香川県丸亀市川西町南甲284の2、0877・28・6111▽主要生産品目 家庭紙・衛生用品包装材料、剝離紙・剝離フィルム▽年間CO2排出量 5855t（21年実績）

課長は成果に胸を張る。フジコーは環境対策や

（火・木曜日に掲載）